

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network 10/1

2018 No.514

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613

JART情報
<http://www.jart.jp>



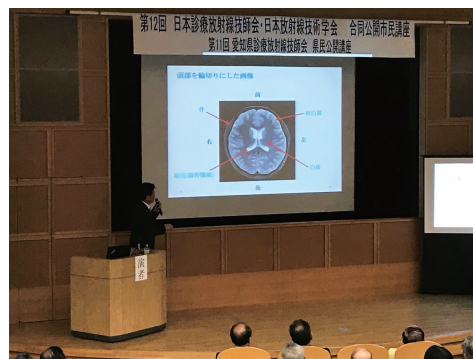
第12回 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同公開市民講座 開催される

平成30年8月4日(土)、前日に観測史上最高の40.3度まで気温が上昇した愛知県名古屋市の名古屋市立大学病院において、日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会(JSRT)の合同公開市民講座が開催された。今回は、愛知県診療放射線技師会との共催であり、「家族と地域で支える認知症」と題し、認知症の知識を深めるとともに、認知症の診療に診療放射線技師がどのように関わり、どんな役割を果たしているか、講演を通じて一般市民に理解してもらうことを目的とした。

開場から講演開始までの時間を利用して、希望する参加者に対し、超音波を利用した骨密度測定を体験していただいた。同時に医療被ばく相談も行った。さらに愛知県立芸術大学の卒業生3人からなる「トリオ・カンタービレ」による弦楽三重奏により、講演の聴講前に参加者の心に栄養と安らぎを与える至福のひとときを楽しんだ。



国会 中澤会長とJSRT小倉代表理事のあいさつの後、医療法人生生会 まつかげシニアホスピタル 認知症疾患医療センター 小林香緒利氏による「名古屋市認知症指定病院における認知症の患者さんへの対応について」の講演が行われ、認知症疾患の診療において診療放射線技師がどのような役割を持ち、どのように業務を実施しているか、検査の内容を説明するとともに、診療放射線技師が患者さんの家族と連携して



業務を担っていることを紹介した。

茨城県立こころの医療センター 白庭等氏による講演「認知症の画像診断における診療放射線技師の役割」では、認知症のMRI検査について一般市民にも分かりやすく解説がなされた。脳の緩徐な変化を捉えるためには、経験的に画像を見るだけでなく、解析を加えて客観的に評価をすることが大切であること、また経時的な変化を把握することが重要であり、診療放射線技師がこの一端を担っていると述べた。

続いて、岡崎市民病院リハビリテーション室の作業療法士 肥後和明氏と太田李穂氏が「認知症予防運動コグニサイズの実践」と題し、頭を使いながら行う運動を紹介し、会場の参加者と共に実践した。運動で身体の健康を促すと同時に脳の活動を活発にする機会を増やすことで、認知症の発症を遅らせる効果があるという。会場全体の参加者が一体となって、楽しく予防体操を体験した。

特別講演は、医療法人三歩会 おくむらmemoryクリニック 院長 奥村歩先生に「ボケない技術～認知症の理解と予防～」と題してご講演いただいた。奥村先生は、多くの本を執筆され、数々のテレビ番組にも出演されている著名な先生である。奥村先生の講演は、一般の人にもとても分かりやすく、参加



者は一気に話に引き込まれた。奥村先生は講演の中で、認知症にならない3つのポイントは、趣味と食事、そして放射線検査による早期発見であると話され、人と関わることの重要性を強調された。

全ての講演の後、質問コーナーでは、奥村歩医師、小林香緒利技師、白庭等技師、肥後和明作業療法士が参加者から頂いた多くの質問にお答えした。ここで奥村先生は、認知症の患者さんは地域で支えることが大切であること、地域包括支援センターの役割についても話をされた。

今回の公開市民講座には227人の一般市民が参加され、4人が医療被ばく相談、173人が骨密度測定を体験され、大盛況であった。参加者のアンケートで多くの感想を頂いたので、主なものを紹介する(アンケート回答数156通)。

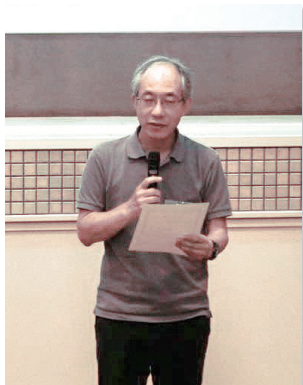
- ・大変ためになった。参考になった。勉強になった。理解できた(同様のご意見を多数頂きました)。
- ・分かりやすかった。楽しかった(多数)。
- ・とても良い企画だった(多数)。
- ・認知症のことがよく分かり、受講して良かった。
- ・画像も多く、分かりやすかった。
- ・診療放射線技師が認知症と深い関わりがあることをよく理解できた。
- ・講演は難しかった。講演が分かりづらい(同様のご意見を複数頂きました)。
- ・興味深い話が満載で、頭が疲れた頃にコグニサイズで運動があり、あっという間に時間がたっていた。
- ・コグニサイズは実際に動くことでよく分かった。
- ・コンサートから始まる企画は大変良い。
- ・スタッフの方々が全員親切で感じが良かった。安心できる。
- ・案内のために外に立っていたスタッフの方に感謝します。

医療画像情報精度管理士セミナー 開催される

平成30年7月14日(土)、秋田県で第1回医療画像情報精度管理士セミナー(スキルアップセミナー)を、7月28日(土)に東京で第2回セミナー(入門編)を開催しました。

第1回セミナーは、医療画像情報精度管理士のスキルアップセミナーとして位置付け、DICOM被ばく管理、AI技術の今後、画像連携(最新トピックス、施設運用での課題)を取り上げました。参加者は26人で、セミナーだけでなく、終了後の情報交換会も含めて活発な意見交換・情報共有の場になったと思います。開催に当たり、秋田県診療放射線技師会にご協力いただけたことを、本紙面をお借りしお礼申し上げます。

第2回セミナーは、医療画像情報精度管理士への入門編として、認定試験範囲の基礎的な内容(モニター管理・DICOM・



ガイドライン・システム管理・画像評価・画像処理)を取り上げ、各講師には、e-ラーニングだけでは補えない部分の講義をお願いしました。当日は台風接近の影響で講師の変更などがありましたが、無事終了することができました。本年度は申し込み締め切りまでに定員の30人に達したため、会場を調整し定員枠を広げた結果、参加申込者36人(最終参加者30人)となり昨年度を大きく上回りました。

第1回・2回セミナーに参加いただきました皆さま、講師の皆さま、ありがとうございました。第3回セミナーは、平成31年2月に千葉県で、画像評価・画像処理をメインテーマとして開催する予定となっております。多数のご参加をお待ちしております。

第3回 骨関節撮影分科会セミナー 開催される

平成30年7月16日（月・祝）、東京女子医科大学病院の臨床講堂で、第3回骨関節撮影分科会セミナーが「上肢・下肢・脊椎の撮影技術と読影技術」というテーマで開催された。受講者は90人。内容は、三菱神戸病院の高井夏樹氏による「上肢X線撮影法の解説」、とうかい整形外科かわげの難波一能氏による「肩関節複合体の読み取り方」と題した講義があり、共に上肢関節の撮影技術と画像観察について話された。奈良県立医科大学附属病院の安藤英次氏からは「下肢荷重撮影について」と題して、自重ストレスを作用させる下肢撮影の意義についての講演があった。東邦大学医療センター大森病院の中野秀治氏からは「骨関節領域CTの撮影ポイント」と題して、撮影の注意点、適切な撮影プロトコルについての講演があった。日本医科大学千葉北総病院の阿部雅志氏からは「骨関節領域MRIの撮像ポイント」と題して、撮像の注意点、症例紹介が行われた。東京医科大学病院の吉田和則氏からは「骨関節領域の読影ポイント」と題して、正常変異症例、骨髄信号の変化と骨髄再転換、良性骨腫瘍との悪性骨腫瘍の鑑



別点についての講演があった。各講演とも活発な意見交換がなされ、実施したアンケートには、骨関節領域をマルチモダリティで評価した今回のセミナーについて“大変満足”との評価が多数であった。

（文責：吉田和則）

放射線被ばく相談員講習会 開催される

平成30年7月21日（土）・22日（日）の2日間、本会講義室で放射線被ばく相談員講習会が開催され、全国より30人の方々にご参加いただいた。

初めに、本会 中澤会長より「放射線被ばく相談員育成制度の意義」についてご講義いただいた。次に、臨床心理士で



ある塚野先生から「被ばく相談における傾聴の重要性」について、リスク・コミュニケーションの専門家である土屋先生からは、ゼロにできない放射線被ばくのリスクを、専門家ではない相談者とどのように考えていくかというご講義を頂いた。講義最後は、国立保健医療科学院 櫻田先生から、東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所事故による福島県の現状について、内部被ばくを中心にご講義いただいた。

本講習会の座学は、医療被ばくだけでなく災害被ばくにも対応可能な教育カリキュラムであること、また相談業務に必要なスキルである傾聴やリスク・コミュニケーションが学習できる内容であるという特徴がある。

また座学以外に模擬被ばく相談対応などを含む3時間の傾聴訓練（ワーク）を実施するのも本講習会の大きな特徴の一つである。傾聴訓練は日本放射線カウンセリング学会傾聴訓練指導者の協力により実施される。相談業務における実技の重要性や継続学習の必要性を感じる受講生は多く、傾聴訓練は好評を博している。



受講後は、後日実施されるe-ラーニングを受講し、認定試験に合格することで放射線被ばく相談員として認定される。認定取得後は放射線被ばく相談員として、国民の放射線に対する不安軽減に寄与されることを期待する。

(文責：放射線被ばく相談員分科会 会長 小松裕司)

第25回 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会 開催される

平成30年7月28日(土)、宮城県仙台市のTKPガーデンシティ仙台勾当台で「第25回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会」が開催された。本講習会は、日本核医学会、日本核医学技術学会、日本病院薬剤師会と本会が共同で開催するもので、年に3回開催している。今回は本会が主催で96人が受講し、診療放射線技師が71人、薬剤師が25人であった。放射性医薬品を取り扱う医師・薬剤師・診療放射線技師は、互いの役割を理解しながら協働する必要がある、放

射性医薬品を適切に取り扱うために、この講習会を受講することが望まれている。また受講したことがある方も、5年ごとに受講することがガイドラインに示されているので注意していただきたい。次回は、平成30年11月3日(土・祝)に石川県金沢市において、日本核医学技術学会主催で開催されることになっている。詳細は、本会ホームページの「ニュース・お知らせ」をご確認いただきたい。

平成30年度 第1回 JART-JSRT定期懇談会 開催される

平成30年8月1日(水)午後3時より、日本放射線技術学会事務局会議室(京都府)において、本年度1回目の日本放射線技術学会(JSRT)との定期懇談会が行われた。

本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、兎玉理事、中村理事、上島事務局長の6人が、JSRTからは小倉代表理事、錦副代表理事、奥田副代表理事、白石学術担当理事、隅田広報・渉外担当理事、宮高事務局長の6人が出席した。

議題は、JART-JSRT合同公開市民講座における共同主催契約書および懇親会費用に関する覚書について検討が行われた。来年度はJSRTが主体となり、平成31年8月24日(土)に岡山国際交流センターで開催することが決定した。テーマは未定である。

さらに日本医療放射線技術関連認定機構連絡会議について議論が行われた。認定診療放射線技師が目指すべき方向性や両団体の果たすべき役割について、今後も継続的に検討を行

うこととした。

続いてJSRTから、第74回日本放射線技術学会総会学術大会について、第46回日本放射線技術学会秋季学術大会の協力依頼、今後の学術大会について、Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP)でのシンポジウム開催について、ミャンマー教育支援について、日本放射線看護学会との学術協定について報告された。

本会からは、第34回日本診療放射線技師学術大会の協力依頼、診療放射線技師養成教育カリキュラム等検討委員会について、医療製品識別とトレーサビリティ推進協議会について、医療放射線の適正管理に関する検討会について、平成30年度・31年度の新執行部について、業務拡大に伴う統一講習会について報告を行った。

次回は、平成31年2月ごろに本会事務所で開催される予定である。

シンガポール在勤の本会会員 来訪される

平成30年8月20日（月）、本会会員でシンガポールのJGH JAPAN GREEN CLINICに勤務されている土屋文宏氏が一時帰国し、本会事務所を来訪された。

中澤靖夫会長をはじめ、熊代正行副会長、小田正記財務担当理事、木村由美専門職が応対し、シンガポールの診療放射線技師の情報などを伺った。土屋氏には、本会誌2013年12月号の「シンガポール奮闘記」で当時のシンガポールの状況についてご寄稿いただいたが、その後の状況も変わってきているため、現在のシンガポールにおける診療放射線技師の情報を含め、再度ご執筆いただくこととなった。掲載号は未定だが、ご期待いただきたい。



平成30年度レントゲン週間イベント （市民向けイベント）の紹介

INFORMATION

本年度の本会共催／後援のレントゲン週間イベント（市民向けイベント）が以下の通り開催されます（すでに終了したイベントも含む）。詳細は、各県（診療）放射線技師会にお尋ねください。

地域	都道府県名	日程	イベント名	会場	主催
	秋田県	11月10日（土）	医療放射線画像展2018	JR秋田駅ばほろード、ルミエール秋田	公益社団法人秋田県診療放射線技師会
東北	宮城県①	10月20日（土）	医療画像展（第13回大崎市健康と福祉のつどい）	古川保健福祉プラザ	大崎市
	宮城県②	10月21日（日）	医療画像展（第17回角田市保健福祉まつり）	角田市総合保健福祉センター	社会福祉法人角田市社会福祉協議会
北関東	茨城県①	9月30日（日）	茨城県がん検診推進強化月間パネル展+放射線展+ピンクリボン運動	イーアスつくば 2階	公益社団法人茨城県診療放射線技師会
	茨城県②	10月21日（日）	「放射線展+ピンクリボン運動」	ファッションクルーズニューポートひたちなか 1階エスカレーター横	公益社団法人茨城県診療放射線技師会
南関東	神奈川県	10月7日（日）	第43回中区民祭り「ハローよこはま2018」	横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク	ハローよこはま実行委員会
	山梨県	11月3日（土・祝）	レントゲン週間「放射線フェスタ」	イオンモール甲府昭和	一般社団法人山梨県診療放射線技師会
中日本	愛知県	9月2日（日）	第34回一宮市民健康まつり	一宮スポーツ文化センター	一宮市、一宮市健康づくり推進協議会
	静岡県	9月9日（日）	第39回静岡ふれあい広場	静岡市青葉シンボルロード	第39回静岡ふれあい広場実行委員会
	福井県	11月4日（日）	レントゲン週間（公社）福井県診療放射線技師会「健康フェア2018」	ショッピングシティバベル北コート	公益社団法人福井県診療放射線技師会
中四国	岡山県	10月13日（土）	ピンクリボン岡山2018	岡山コンベンションセンター 2階レセプションホール	ピンクリボン岡山
	島根県	12月2日（日）	2018レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ あなたのための医療放射線展	ゆめタウン出雲 2階連絡通路	一般社団法人島根県診療放射線技師会
九州	佐賀県	10月末	第16回レントゲン週間	未定	一般社団法人佐賀県放射線技師会、佐賀県健康増進課
	宮崎県	11月3日（土・祝）	みやざき健康ふくしまつり2018	フローランテ宮崎	みやざき健康ふくしまつり実行委員会

INFORMATION

第1回 第35回日本診療放射線技師学会

埼玉への道

埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会より



何も無い、わけではない

2019年9月14日(土)から16日(月・祝)までの3日間、埼玉県さいたま市大宮区において第35回日本診療放射線技師学会大会が開催されます。さて、埼玉といえば皆さま何を思い浮かべるでしょうか？ もちろん県内に名所・名物はあるものの、ミシュラン三つ星のように宿泊してまで訪れるべきものと言われれば「何も無いのでは…」と、言葉が詰まります。ある日、偶然見たTVのインタビューで『埼玉の良いところ』という質問に、一般の埼玉県民の方が「東京に近いところ」と言ってしまう始末です。

都道府県魅力度ランキングで常に下位に位置する埼玉県は、全国大会のような機会がなければ東京へ向かうために通過する県というイメージがもたれかねません。しかし、われわれ埼玉県民は別に悲観的に思っているわけではありません。埼玉は都心部で働く方のベッドタウンという一面が色濃いため“遊びに行く場所”というより“住む場所”という認識が強いのです。そして各地域には生活に必要な施設だけでなく、十分楽しめる商業施設が建てられ、その街ごとに色が出ます。秩父の自然や文化、鉄道や鋳物の街、アリーナもあればプロ野球・Jリーグチームお膝元の街もあります。“何も無い”わけではなく、大体のモノはそろっているのです。ただ“住む場所”という認識が強いので、魅力的な観光県である必要性を強く感じない県民性があるのかもしれない。

今回、サブテーマに「彩の国から未来へ」を掲げています。「ダ埼玉」と言われた埼玉のイメージアップ推進から始まった「彩の国」という名。先にも申し上げた通り「何も無い」県で“ない”ことはご理解いただきたい。意外と色彩豊かな埼玉は、そこそこ都会でそこそこ田舎、たくさんある地元のソウルフードなど、それなりにそろった飽きない街(県)です。せっかくの機会です、放射線における医療の未来を本大会で感じ、共に考えてみませんか？ われわれもできる限りのおもてなしを考え、お待ちしております。

これから次回学会大会までの「埼玉への道」は、大宮周辺だけでなく、埼玉全体の街やモノにスポットを当ててご紹介致します。どうぞお楽しみに。

～埼玉への道 予定コンテンツ～

- 第1回：イントロダクション 何も無い、わけではない
- 第2回：大宮という街
- 第3回：埼玉のB級グルメ&ソウルフード
- 第4回：秩父・長瀬へ行ってみよう
- 第5回：古墳→のぼうの城→陸王=行田市
- 第6回：埼玉の酒・全国2位「うどん県、埼玉」
- 第7回：小江戸「川越」と狭山茶「狭山・入間・所沢」
- 第8回：浦和vs大宮？ + 川口市と深谷市
- 第9回：そして大宮（大会会場周辺のご案内など）
- 最終回：大会に向けて





第35回 The 35th
Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

日本診療放射線技師学術大会

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

彩の国から未来へ

From Sainokuni to the future

会期
Date

2019年9月14日(土)~16日(月・祝)
September 14(Sat) -16(Mon) , 2019

会場
Venue

大宮ソニックシティ
Omiya Sonic City

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

田中 宏 (公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 会長)
Hiroshi Tanaka (Saitama Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人日本診療放射線技師会
Japan Association of Radiological Technologists

共催
Cosponsor

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Saitama Association of Radiological Technologists

後援
Support

厚生労働省(予定)
Ministry of Health, Labour and Welfare
埼玉県(予定)
Saitama Prefecture
さいたま市教育委員会(予定)
Saitama City Board of Education

運営事務局
Congress Secretariat

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39
TEL:048-664-2728 対応時間平日(月~金曜日) 9:00~15:00
Saitama Association of Radiological Technologists Saitama Prefecture Saitama City Kitaku Miyaharacho 2-51-39
Phone:+81-48-664-2728 Correspondence time Weekday (Monday - Friday) 9:00~15:00



本会の動き

医療被ばく安全管理委員会より

医療被ばく安全管理委員会は大きく3つの事業計画にのっとり活動を行っています。

1つ目は「医療被ばく低減施設認定の推進」です。昨年まで東京を中心に開催してきた「実践! 医療被ばく線量評価セミナー」「医療被ばく線量適正化講習会」を踏襲した内容で、講習会形式の「医療被ばく低減施設認定取得セミナー」、講演会形式の「医療被ばく低減施設認定取得に向けて」を全国展開することとなりました。近年、急速に進められている医療被ばく線量管理体制の構築や医療法施行規則の改定への対応も背景に、多くの方々にご参加いただき盛況となっています。講演会は各都道府県技師会のご協力もあり、本年度の予定は全て埋まりました。

2つ目は、医療被ばく低減施設認定事業の円滑な推進と審査の透明性と公平性を担保するために重要な、医療被ばく低減施設認定審査基準の周知およびサーベイヤーの育成です。サーベイヤー資格を有する方々への協力要請と育成をはじめ、定款改正・諸規定見直し委員会、診療報酬政策立案委員会との共同で、

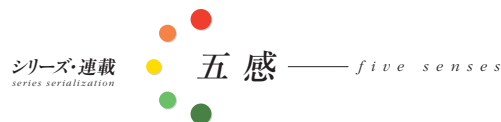
規定の改定や公益財団法人日本病院機能評価機構への働き掛けを模索しています。

3つ目は、あまり知られていない事業ですが「医療被ばく個別相談センター」の運営があります。ホームページから寄せられたご相談に対し、ご相談者個人の環境や知識に合わせた個別対応を行っています。ご相談内容は医療被ばくのみならず、環境被ばく、健診による被ばくなどさまざまです。またご相談者は患者や家族のみならず、医療従事者や診療放射線技師からの相談もあります。本年度からは放射線被ばく相談員分科会と共同での対応を進めています。

特に、医療放射線被ばく線量管理の分野には追い風が吹いています。この風に乗れなければ、この分野で診療放射線技師が活躍する場合は当面訪れないのではないかと危惧します。数は力です。「医療被ばく低減施設認定」の推進は喫緊の課題であり、委員会としましても注力しておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

(文責：鈴木賢昭)

10万分の1体験記



先日、右手第4指の腱鞘炎で近所の医療提供施設を訪ねた。治療は薬物療法。腱鞘内にステロイド薬を直接注射。痛み・症状は瞬時に消えた。

もう一カ所、気になっている所があったので聞いてみた。右踵骨棘である。診察を受ける中で嫌な予感がしてきた。確かこのクリニックのスタッフは医師2人、看護師2人、その他鍼灸師と柔道整復師であったはずだ。医師より「レントゲンを撮りましょう」と。看護師に誘導され、診察室の横にある撮影室に入った。

「この踏み台の上にスリッパを脱いで上がってください」「台が倒れますので、背中をしっかりと台に付けていてください」「頭をぶつけないように、台の上に座ってください」「この上に足をそろえて乗せてください」「両足をくっつけていてください」「はい、撮ります」

「今度は足の裏をくっつけて、この上に乗せてください」「はい、撮ります」「終わりです」

このシチュエーション、お分かりになりますか？

撮影装置はX線透視撮影装置。IPカセットは14インチ(大角サイズ)。照射野は全開で放射線防護具はなし。ポジショニングは上記の通り。もちろん、撮影スイッチを押したのは診察してくれた医師。私の右踵骨棘は、見事、両足の裏同士が合わさったモニター上の画像に小さく写っていた。治療法は、保存療

法でインソール付きのサポーターをもらった。

厚生労働省の調査(平成28年)では、全国の医療施設数は178,911施設。そのうち病院は8,442施設、一般診療所は101,529施設、歯科診療所は68,940施設である。

勤務している全国の診療放射線技師数(本会総会資料)は病院42,437人、診療所9,877人である。一般診療所の数に比較して、そこで勤務する診療放射線技師の数はかなり少ないことが理解できる。実に9.7%であるが、現実的には同一診療所に複数勤務の場合があるので、この数字はさらに小さくなる。歯科大学付属病院は別として、歯科診療所に勤務する診療放射線技師はほとんどいない。

このことから、全国の大多数の診療所では、そこで行われるX線検査に診療放射線技師は携わっていないことになる。前述した私の体験は、そういった意味から至極当然なのかもしれない。

本会は、『国民医療及び放射線診療に関わる予防・診断・治療等の技術の発達を図り、もって公衆衛生の向上及び国民保健の維持発展に寄与することを目的とする』を定款に掲げている。

医療における放射線診療をより最適に行うために、われわれ診療放射線技師が存在する。診療放射線技師のいない医療施設の放射線診療の安全性・最適化・被ばく量低減をどう担保するかは、行政を含めての本会の大きな課題であると感じた。

(文責：小田正記)

10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

- 画像等手術支援認定講習会：新潟 10月28日（日）
- 医療被ばく低減施設認定取得セミナー：福井 11月11日（日）
- 読影セミナー：大阪 11月11日（日）
- 「看護学」（実習）講習会：京都 11月17日（土）
- 骨関節撮影分科会セミナー：大阪 11月18日（日）
- 放射線機器管理地域研修会：島根 11月18日（日）

INFORMATION

結核研究奨励賞候補者の推薦について

公益財団法人結核予防会より、本会へ結核研究奨励賞候補者の推薦依頼がありました。本賞は医療技術関係者の結核に対する関心を高め、結核に関する実践的研究を振興奨励するために設けられております。会員の皆さまの中に該当者がおられましたらご推薦いただきますようお願い致します。

- 該当職種：診療放射線技師、診療エックス線技師
- 対象：結核に関する調査研究で優れた内容を持ち、原則として過去3年以内に学会、研究会、雑誌などに発表されたもの。1つの主題について、何年かに分けて発表されたものをまとめたものでもよい。
- 必要な書類：（1）履歴書
（2）・学会または研究会で発表された研究については、発表原稿（または2,000字程度の抄録）とスライド原図、またはそれに相当するもの（コピー可）
・雑誌に発表された研究については別刷り（コピー可）
（3）研究内容要約（研究課題名、発表者、所属、発表学会、研究会、雑誌名も含めて400字以内、A4版1枚）
- 締め切り：平成30年12月14日（金）本会へ必着

INFORMATION

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004_api.html

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。